



洋書輸入協会会報

Vol. 31 No. 11 (通巻366号) 1997年 11 月

理事会報告

11月26日(水)

(一)10月分収支報告

総務委員長の報告を承認した。

(二)委員会報告

(1)総務委員会

1998年度定時総会の準備に入る。期日と会場について提案。

〔検討の結果5月15日(金) ホテルサンルートに決定〕

(2)広報・渉外委員会

金融ビッグバンに関するセミナーを11月17日開催。27社46名出席者あり好評裏に終了した。

(3)事業委員会

明年1月22日より開催の東京国際ブックフェアで洋書パーゲンセールを開催することに決め近々委員会を開催して具体的に詰めたい。

(4)ダイレクトリー委員会

- ・UPS社の小林委員長が12月末で同社を定年退職するため明年1月より同社の芦田氏に委員長を交代する。

- ・98年版については例年通りの編集を行うが98年以降についてはAgent-Listの電子化を含め編集方針の変更を検討したい。

(三)理事会方針審議

理事長より「方針」案文に対する説明があった後、出席各理事の意見に基づいて加筆修正した。清書の後全理事の承認を得て会員に配付する。

海外ニュース

アメリカ書店値引戦争

書籍の割引価格をめぐって、伝統的な書店が新興勢力に敗退したことが明らかになった。

これはABA(アメリカ書店協会)の委託でGALLUPが行った調査によるものである。1996年のアメリカにおける書籍購買の状況を調査した結果、割引価格で購入された書籍の殆どが、伝統的な書店以外の場所で行われていたことが判った。American Booksellers Associationの機関紙であるBookselling This Weekに発表されたこの調査は、消費者がどこで書籍を買ったかを質問したもので、購入された書籍全体の53%が伝統的な書店で買われたものの、割引価格で購入された書籍のうち伝統的な書店で買われたのは44%だったことが判った。

伝統的な書店の中では、割引価格による販売の27%と、最も大きい割合をチェーン書店やスーパー書店が占め、ディスカウント書店が15%、一般書店が11%を占めた。それ以外の販売では、ディスカウント倉庫業者及びディスカウント・クラブが9%、ブック・クラブが7%、出版社による通信販売が6%を占め、残りの25%は「その他のすべての種類の販売店」によるものだった。

これらの数字は、定価販売のそれと対照的なもので、定価販売については伝統的な書店が依然として強い勢力を誇っている。これらの総売上上の内60%が書店によるもので、そのうち25%がチェーン書店、スーパー書店が13%、一般書店が16%を占め、残りの6%は出版社による通信販売である。

目次

理事会報告	1	パソコン外論考(其3)	3	車文化のさまざま	5
海外ニュース	1	うちの会社	4	総代理店のご案内	6
セミナー開催	2	文化厚生委員会だより	4	出版文化史逍遙—西から東から②	7
				広告	8

調査によると、3人に2人は1ヵ月に少なくとも1冊の本を購入しており、この63%という割合は、昨年の64%を僅かに下回ったものの、1994年の60%よりは高い数字である。

【THE BOOKSELLER/NOV. 14, 1997より】

ブレア英国首相、公立図書館の ネットワーク化を計画

英国のすべての公立図書館は、ブレア英国首相の支援する情報技術革命を広げる計画のもと、インターネットに接続されなければならなくなった。

計画によれば、英国の図書館をインターネットにつなぎ、図書館利用者全員が公共サービスのデータベースを利用できる。

この計画は5年間に7億5千ポンドの経費がかかるため、民間分野との連帯が必要になる。文化庁長官クリスミス氏はブレア首相の依頼を受け、来週、図書館情報委員会から提出される調査に基づき、今年度末までに「新しい図書館、人々のネットワーク」という題の報告書を作成することになっている。この報告書によれば、公立図書館は全てインターネットにつながる事が義務づけられ、利用者はコンピューター使用料を支払うことで公共サービスのデータベースを無料で利用できる。

7年投資計画の初年度は、主にターミナルとプリンター設置に6千万ポンドかかることが予想される。

マイクロソフト社社長ビル・ゲイツ氏も熱心に指示している計画では、英国の国家的遺産である稀覯書(珍本)、マニュスクリプト、絵画、古器物のコレクションをデジタル処理で後世に残し、図書館利用者が博物館、美術館、報道機関、その他公共サービス、ボランティア、個人機関のデータベースに接続できるようになるというものがある。ブレア首相は英国の32,000の小・中・高校をインターネットでつなぐ計画を発表し、又成人についてもコンピューターによって学生を遠く離れた大学と結び学位取得のため勉強できる計画を、英国政府は熱心に考慮中である。技術の進歩で、2、3年後にはかつて我々が夢にも見なかった程の入手可能情報量の増大が予想される。

英国の図書館は、昨年ビデオテープと音楽用のCDの賃貸料を1千2百万ポンド増やしたが、本の貸し出し有料化は法律で禁止されている。

4,700館ある英国全土の図書館のうち、すでにくつかはインターネットサービスを開設しているがほとんどの場合、接続料金は有料である。(ザ・タイムズ 97年10月11日付)

セミナー開催

テーマ：金融ビッグバン

講師：東京三菱銀行主任調査役 葉山英行氏

日時：1997年11月17日 午後2時～

会場：丸善(株) 第2丸善ビル会議室

広報・渉外委員会主催による預記のセミナーが、27社より46名の参加を得て開催された。金融ビッグバンとは規制緩和と税法改正がセットになる／居住者の外貨建て決済が可能になる(但し為替リスクを負う)／商社を通さず海外取引が直接出来る／相殺勘定が可能になり銀行手数料を大幅にセーブ出来る、等々がシミュレーションを交えて平易に解説された。「店頭でのドル払いを拒否出来るか」(可能)などの現実的な質問もあって参加会員の強い関心を引き、好評裡に閉会した。(HT 記)

訂正

前月号(10月号)に下記の通り一部合計金額に誤りがありましたので訂正します。

1 ページ米国書籍輸出金額：

誤：上位10ヵ国合計	1997年	\$685.2
全世界合計	1997年	\$852.4
正：上位10ヵ国合計	1997年	\$727.3
全世界合計	1997年	\$886.4

パソコン外論考 (其3)

宇田川一彦 Udagawa Kazuhiko

◆もう、あんたの勝ち…/Alright, Okay, You win

子曰、絵事後素、 (論語／八佾)

The Master said, The colours are put in after the white. (Confucius; Analects/Book III)

【超拙意識；先生は言いました。「絵を描くときの point は、最後にホワイトでハイライトを入れることだな」】

【拙感；ここでは、古注の訳によっています。新注では、「素より後にす」と読み、まず生地の色があって、後に色を加えると解釈します。うーん、古注。好きですね】

で、パソコンの場合には、まあ速いプロセッサ (CPU) 搭載のパソコンは、生地として必須です。

で、やはり、ホワイトといえば、たとえば使いやすい、やさしい Wordprocessor かな。(これだけでも使えば、十分パソコンの元をとったといえます。通常はこのようなソフトを Application Software といってます)

いや、やはりホワイトは、Operating System (OS= 単にオーエスといいます) でしよう。

この OS というのは、Application Software を Computer 上で動かしたり、周辺装置 (装置とか device とかいうとなんだかすごい感じですが、要は、Hard-Disk Drive とか Printer、Display や CD-ROM Drive とかを、いいます) と Computer と Data のやり取りをする「基本ソフト」をいいます。(こんなことは、読んだらすぐ忘れてください)

といって、読んでも、なんだか隔靴搔痒。有体にいえば、「丁度方式家の長男 (1千万本突破／本年9月中旬)」とか「超ちびソフト家の合い言葉 (1千万本突破／本年10月下旬)」といわれる Software と、「集積化電子屋」さんの CPU が入っているパソコン Hardware を「仲介」する『特殊ソフト=OS』=「窓いっぱい95」と思ってください。←多分、この説明で Okay?

ところが、やっかいなことは、この OS は、どの CPU を積んだパソコンでも動くというわけには、いかないのです。(隔靴搔痒を避けるため、しばらくは実名)

現在市場に出回っている一般用パソコン+OS の組み合わせは、日本では単純に大きく分けて3種類あります。

①Intel の CPU が入っている、いわゆる国際標準機、IBM-互換機 plus OS は、Microsoft 社の (A)

Windows 95 (以降 Win95 と略) の組み合わせ

②Motorola の CPU が入っている、Apple 社の Power Mac機 plus OS は、同社の俗称(B)Mac OS の組み合わせ

③Intel の CPU が入っている、いわゆる日本標準機、世界に冠たる NEC 機 plus OS は、Microsoft 社 NEC 用 (A) Win 95 の組み合わせ

【注意、この順列組み合わせは、変更不可。たとえば②のパソコンに①の OS を、また逆もダメ。で、やっかいなのは、③の扱いです。③のパソコンに①の OS はダメ。③の OS を①のパソコンにもダメ】

《OS としては、最近 Work Station 用 (企業ユースと考えてください) といわれている OS、Win95 よりも機能充実の Windows NT (New Technology) の組み合わせもありますが、この OS はいずれ chance があれば…。もち、この Win NT も CPU は Intel でなくては、いけません。注釈が多くなりますが、ただ、Intel 互換 CPU でも、もち可。もう一つ、DEC という会社の Alpha CPU でも動きます。こいつは、メチャ速い。しかし残念、DEC は最近 CPU の部門を Intel に売却……》

そこで、ハッと目が覚めます。じゃあ、大切な「パソコン事の素」=OS は？ どれを積んだパソコンを選べば…。

もう、ここまでくれば、迷うことはありません。ましてや、はじめてであれば【①】です。

②は、初めてであればお勧めできません。だって、林檎社の Steven Jobs は、Microsoft の Bill Gates と株価釣り上げのために提携に走った、と小生は思います。気がつけば、Jobs さんは Gates 氏と重役になる。

③は、やっとここに来て、日本独自の世界から脱却、「限りなく①に近いパソコン路線」に変更しました。

それが、元秀吉竹中氏がにっこりと「明日のパソコンを今日使おう」とやっているものです。26機種を発売。

これは、Microsoft が来年発売予定の OS、Win 98 の機能にあわせてパソコン(PC-98NX 基準)の方を作っています。ってのが宣伝文句。で、年末商戦 NEC 独壇場を許すものかと、Fujitsu も35機種ドバッと発売。

で、ハッと目が覚めてしまいました。

正直いって、出てもいい OS に合わせた、といわれてもこの世界、3月先は闇ですから。これが、常識のパソコン界。しかも、米年早々にはとか、が4月なり、日本版は秋とか冬とかに…。なにせ、発売延期の常習社だったので、新 OS が出てから考えましょう。この方がまっとうです。 (この項続く・乞御期待)

伸興通商株式会社

昭和38年、東京オリンピックを翌年に控えて、いちめに掘り返された青山通りに、小さな事務所を構えてのスタートでした。この業界には不似合いな社名は、登記の際に何か事情があったとか。何度かの社名変更の計画も実現せず、現在に至っています。

社長と社員の2人で、理工書を主に扱う会社として発足しましたが、大学、企業関係のお客様のご要望にお応えして、“何でも洋書屋”のスタイルで、きめ細かいサービスに徹してきました。昭和45年には四谷の新築ビルにオフィスを移すことが出来ました。

英語をはじめ、フランス語、ドイツ語と、語学教材の分野に展開をしはじめたのは20年程前のことで、海外の視聴覚教材の紹介をはじめたのも、この頃のこと

です。現在では、スペイン語も加わり、この分野が当社の主軸になっています。

視聴覚教材の広がりとして、この10年は、海外のビデオ教材を日本の教室でより効果的に使って頂けるという目的での、独自のテキスト類の出版。ヨーロッパの映像プロダクションとの共同制作。TV 語学番組への協力等も、手がけてきました。語学部門に加えて、数学関係のビデオ（数学理論を映像化したもの）も日本語ナレーションにして紹介しています。

事業内容は、この34年間、時代に順応し変化してきましたが、創業以来のサービス精神は、少数精鋭の社員達によって、しっかりと受け継がれています。

（長戸）

文化厚生委員会だより

第85回72会ゴルフコンペ

関越ハイランドゴルフクラブ 1997年9月18日(木)

前日には台風19号が九州で死者を出して中国地方を横断、また当日は20号が小笠原諸島にありという台風ウィークでの開催となりました。いつもはほとんど気にも止めない天気予報をテレビでチェックして、家を出ることになりました。軽井沢への通り道となる群馬県吉井町、村山さん（ゲーテ書房）のホームコース。このコンペでもたぶん十数回開催しています。

妙義、榛名、赤城、の三山に囲まれた丘陵にあって、打ち上げ、打ち下ろしあり、O.B. ゾーンもそこそこあるのに、なぜか皆さん良いスコアの出るコースです。新しく、理事長代理になられた戎井さん（エビスイ、丸善）の初参加を得て、9名でのアットホームなコンペとなりました。小雨の中、傘をさしてのスタートは何年ぶりか。しかしそれも3ホールまで。雨はやみ、風なく、暑くなく、72会の天気に対して悪運が強いという伝説はまだ続きそう。結果は下記のとおり。

とうとうやった佐川さん（三善）。参加20数年、回数

にして30数回、筆者の記憶では今までもらった賞品は、参加賞かブービー賞だったか。今日もたぶん優勝など頭になく、みんなに会えて、楽しく酒が飲めれば十分ぐらいの参加だったと思います。初参加でいきなり3位の戎井さん、仕事場では見られないかもしれない気さくさで、すでに常連のよう。これからもどんどん参加してください。2位に飛び込んだ筆者は年初にスキーでO.B.。鎖骨骨折のため長期休養明け、このコンペ目標に必死でリハビリに通い、ジムでトレーニングした結果でした。馬券は大穴で的中者なし。全員に払い戻しとなり、みんなで大笑いのうちにお開きとなりました。

成績

順位	氏名	所属	グロス	ハンデ	ネット
優勝	佐川美貴夫(三善)		101	25	76
2位	和田茂	(大洋交易)	96	18	78
3位	戎井忍治	(丸善)	103	24	79
4位	西山久吉	(西山洋書)	95	16	79
5位	松浦拓己	(丸善)	95	14	81
ベストグロス	鶴三郎(東亜ブック)		92		
ドラコン	戎井忍治(丸善)	和田茂(大洋交易)×2			
ニアピン	松浦拓己(丸善)	鶴三郎(東亜ブック)×2			

（大洋交易、和田）

車文化のさまざま

—イギリス、アメリカ、日本—

島岡 丘

車の排気ガスを減らすための企業努力のことが今話題になっている。一番いいのは車に乗らなくてすむような、あるいは車に乗る機会をできるだけ少なくするライフサイクルにすることだろう。しかしそうは言っても、ロスなどの大都会にいと車が生活の一部になっており、車なしでは買い物すらできないことも事実である。排気ガス零の車が出ることを望みたいものだ。

車は同時に危険な代物だ。運転技術がなければ、自分ばかりか相手にも被害が及ぶ。そこで、どの地域でも、運転免許取得という制度で、一定の運転水準に達しないものは運転させないことにしているが、その内容はそれぞれの国別の特徴がある。イギリス、アメリカ、日本と比べると、それぞれ異なるので、筆者の経験を通して語ってみよう。

私はイギリスの運転免許証を20才台後半にカーディフという町で取得したのだが、手続きはごく簡単で、市役所に行って必要書類に記入すれば、すぐに仮免許証(provisional driving license)を発行してもらうことができる。その仮免許証があると、運転免許証を持った人が車に同乗しているだけで、仮免許証をもらったその日から運転ができる。ただし、車に白地に赤く「L」の文字のついた正方形のプレートをつけることが義務づけられる。LはLearner's(運転練習中)の意味であることを後で知った。

私が滞在していた中都市のカーディフには、日本の各地にあるようなドライビングスクールに相当するものはなかった。インストラクターはカーディーラーのところにおり、指導を受けるには直接カーディーラーのところで契約するのである。契約が済むと指定の時間に自宅の前までインストラクターが車でやってくる。特別な運転練習場が必要なのは、どこでも舗装率100%なので、練習するための交通量の少ない道路はたくさんある。私も比較的車の往来の少ない道路に連れて行かれて、そこで運転練習を重ねた。

私は当時、ブリティッシュカウンスル奨学生としてウェールズ高等工科大学大学院の TESL Diploma Course に留学中だったので、研究や論文執筆でいそがしく、平日は午後9時まで図書館で時間を過ごした。運転練習は週

1回土曜の午後と決め、半年かけてゆっくり運転を覚えようと思った。私のインストラクターは会社のために効率的に収益を多くしようとする意識はあまりなく、むしろ自分の選んだ職業生活を楽しみとするほうに傾いていた。1時間の練習が終わるとすぐに次の人の指導に行くのではなく、終了後も2、30分はいろんな話をするのである。テレビはdocumentaryがよいとか、話題の映画、王室、イギリスの社会問題など話題は様々だった。イギリスの女性は車をバックさせることが不得意だということも語った。毎週会う度にお互い親しみが増し、運転免許証を首尾良く取ったら、一流のレストランで食事を奢るよ、と伝えたところ、そんなことはしなくてもいいのに、と言いつつも、そうだったら、祝杯のシャンパンや飲みものは私が出すよ、と言いつつも、半年後その通り現実化したときはうれしかった。レッスンのときはかなり厳しく、Do you follow me? などと言いつつも、大声を張り上げることも何回もあったが、食卓では、私の英語の話すペースに合わせてくれ、実に楽しい食事のひとつときだった。

運転免許証のための試験は実地テストと口頭テストの2種類で、ペーパーテストが無かった。半年間、練習に使った車はAustin A40で実地試験にもその車を使った。細い路地に車をバックさせるにははじめは苦手だったが、そのコツは車が目線の方向に進む傾向があるので、車の後ろ窓の真ん中を見つめると車は真っ直ぐバックしてくれることがわかり、実地試験はパスできた。一方、口頭試験は実地試験が終わってから車の中で行われた。第1の質問は“What would you do when you had an accident and injured someone?”だった。“I'll take him to a hospital.”と答えたが、これは誤答だ。その正解は、“I'll find the witness.”つまり、「目撃者を捜せ」、である。

第2問は、“How do you drive when you come to a roundabout?”だった。roundaboutはアメリカ英語のrotaryに対応する。正解はThere is no right of way,つまり、優先順位はないということだ。この答えは、運転免許を取るためのテキストに書いてあることだが、数年前、レディングの町をドライブをしたとき、優先順位のあるロータリもあることに気づいた。

インストラクターに聞いたことだが、ドイツではペーパーテストがあり、エンジンの構造なども試験に出るそうである。そのインストラクターの意見をまとめると次

のようになる。要するに事故なく運転することが最も重要なことで、機械の構造を覚えていても実際の運転には役立たない。むしろ、大切なのは、人間はたとえ細心の注意を払っていても間違いを起こすことがあり得るので、誤った運転をしても事故につながらないように、事故の範囲 (margin of error) を設けておくこと。また、運転は各ドライバーの責任であると述べ、イギリスの良さを述べた。

イギリスの道路にはスピードは各ドライバー任せ (delimitation zone) という区間があるのは、個人がそれぞれ責任をもつという考え方が背景にあると思われる。個人に責任を持たせることに関連して、二階建てバスの出入り口の近くには JUMP DOWN AT YOUR OWN RISK と書かれていたことを思い出した。飛び降り個人は個人の自由だが、怪我をしても責任はもちませんよという姿勢である。日本語では「飛び降り禁止」とするだろうが、個人思考と集団思考との違いを垣間みた気がした。

日本国内の運転はどうだろうか。スピードを出しても絶対安全なところでも「おかみ」が決めた40キロ制限を標準としてそれを越えた車は容赦なく捉え、罰金の支払いと再講習を強要する。私も一般通路で時速65キロ出して25キロ超過、100キロ制限の高速道路で29キロ超過などで罰金を払わされた。私の知り合いも、盤越高速道路70キロ制限のところでも100キロ出したため、2万円近く新潟県警に払わされたそうだ。規定にしたがって忠実に任務を実行する日本の警察官を非難するつもりはないが、イギリスのようにもう少し、スピードを出す出さないは各ドライバーの個人的な責任とする区域を設けてもよいのではないと思う。取り締まりを厳しくすると「違反が見つからないように、かくれたところでスピード運転をする」とか自衛のために取り締まり感知器を備え付けるかになるだけではないかと思う。往診のために急ぐ医者のほか、病院に急いで子どもを連れていくとか、講演会に間に合うため、締め切り時間に間に合うためなど、スピードを出す車はそれぞれの理由があるはずだ。超スピードを楽しむドライバーは若者のごく一部に限られているのではないだろうか。公務員定員削減の行革の際に、イギリスのようにスピード取り締まり不要ゾーンを設けてもよいのではないだろうか。

カリフォルニアで運転免許を取ったのは50才のときロス滞在中であった。はじめ国内免許を国際免許に切り替

えればそれで運転できるので、それでよいのではないかと考えていた。しかし、ロスに住む人たちに聞いてみると交通事故を起こしたときに国際免許の所有者のほうが不利になる、と忠告されたので、車を借りて試験を受けることにした。サンタモニカにある DMV (the Department of Moving Vehicles) へ行ってみてまず試験を受けるのであるが、英語でもスペイン語でも日本語でも受験できることは、なるべく早く運転免許を取らせる必要性があるためであろう。私は日本語で受けたが、問題数は40題で○×方式であった。4問までの間違いは許される。各40題の試験問題は5種類あり、それがローテーションされ、日によってそのうちのどれかが使われる。筆者も4問間違えて危うくセーフだった。

帰国後、カシオ科学振興財団助成金をいただいて、簡単な英語の文法に関する検定試験を筑波大学教育機器センターと共同で開発したことがある。その際、40題の9段階で各通過率は90%としたが、その方式はカリフォルニアの運転免許試験制度を参考にした。

(茨城キリスト教大学教授)

総代理店のご案内

ユサコ株式会社

Tel. (03)3502-6471

Fax. (03)3508-0770

1998年より下記の出版物が総代理店に指定されました。

1. The Society of Neuroscience
"Journal of Neuroscience"
* 航空貨物と国内宅配便にてお届けいたします。
2. AOAC International
"Journal of AOAC International"
"Official Methods of Analysis of AOAC International"
* 航空貨物と国内宅配便にてお届けいたします。
3. EndNote & EndLink (Niles & Associates, Inc.)
EndNoteは参考文献を保存・管理し、リストを自動的に作成するデータベースプログラムです。

英語辞書の歴史—ジョンソン・ウェブスター・OED—(II)

丸善・本の図書館 鈴木 陽 二

◆『オックスフォード英語大辞典』について

OEDは“New English Dictionary (NED)”というタイトルで1884年に第1分冊(A-Ant)が発刊されて以降最後まで分冊の形で継続したが、一方1888年のVol. 1 (A. B)からは合本も並行して出版された。また、1895年の“Deceit-Deject”の分冊以後“The Oxford English Dictionary”という名称がタイトルに使用されるようになった。こうして、1928年に全10巻が完結したが、マレーが編集に携わってから半世紀、「言語学会」の決定から70年を費やした大事業であった。その後補遺の編纂と本文改訂の作業が行われ、1933年に全13巻の新訂版が刊行され、さらに、1980年には新補遺の刊行が開始され、1986年に全4巻が完結した。これでOED第1版が本当の意味で完結を見たわけで、1884年の第1分冊刊行から100年を越える事業となった。

1857年にトレンチが言語学会に対して、それまでに発行された英語辞書の問題点を指摘した「わが国の英語辞書の欠陥について」という論文を提示したことを既に述べたが、この内容は「(1) 過去の辞書は廃語を収録するのに首尾一貫した方法に依っていなかった/(2) 語の派生系列または関連語群が一貫性なく辞書に収録されていた/(3) 辞書にあげられている用例引用文よりも年代の早い、あるいは遅い例が見られた/(4) 初期の重要な意味の記述、とくにある語の歴史的発展を理解するのに重要な意味の記述が欠けていた/(5) 類義語の意味の区分がとりあげられなかった/(6) 語の初出用法、その語源、およびその意味を説明するための適切な引用文を求める」に当たって、文学作品の調査の仕方が不適切であった/(7) 種々雑多な不適切、余剰的な情報(神話の登場人物、百科的項目等)が辞書を不必要に混乱させていた」(ランドウ著・小島義郎他訳『辞書学のすべて』)というものであった。これが新辞書編纂の指針として生かされることになったが、正にOEDの性格・特徴を示しているものといえるだろう。

さて、辞書は1928年に10巻で完結したのであるが、24万以上の主見出し語、派生語や複合語を合わせると40万以上の見出し語が収録され、例文の収集では500万にの

ばる引用文が集まって、その中から180万以上を収録した。その結果、3段組で実に15,487ページという世界最大の辞書になった。ランドウは次のように記しているが、この言葉はOEDの長所を如実に語っているし、またこの辞書に捧げた頌詞でもあろう。「各語の意味の発展の歴史的記録を用例引用文と各語義の定義をつけて与えるだけではなく、スペリングの変化、すなわち各語が歴史の過程の中でとったさまざまな語形を示している。それはまた、現在までに存在したものの中で、際立って最も完璧で権威のある語源、すなわち全体としては現在でも揺るぎのない情報群を与えてくれる。語義の区分はすべての英語辞書の中で最も詳細で正確であり、定義は最も精密で明確に内容を記述している」(前掲書)。

10巻の完結までに長い年月がかかったことで、特に初期に刊行された巻を補訂するためにサプリメントを編纂し、それを併せた新訂版全13巻が1933年に刊行された。丸善が昭和9年に『牛津大辞典』として大々的な販売キャンペーンを行いOEDを日本に広く浸透させたのはこの版であった。さらに1972年から1986年にかけてニュージーランド出身でオックスフォード大学の言語学者バーチフィールド(Robert William Burchfield 1923-)による編纂で4巻の補遺が刊行された。これは、OEDが本来もっていた欠点の修正を全巻にわたって行ったばかりではなく、新語義・新語などを補完している。かつて辞書から排除することが通例であった性や排泄に関する語はOEDにも含まれておらず、また百科事典的な語彙も収録していなかった。しかしバーチフィールドによる新補遺は、かつて忌避されていたそれらの語彙も、また基本的な科学技術語も採録して69,372の見出し語を有する4巻もの大冊の辞書となった。

OEDはさらに発展を続け、1989年にはコンピューターによる編纂で主見出し語290,500、合成語・派生語157,000、成句169,000の新しい第2版が1989年に刊行されたが、この詳細は割愛する。

〔参考図書：小島義郎『英語辞書物語』/永島大典『OEDを読む』/同『英米の辞書』/ランドウ著・小島義郎他訳『辞書学のすべて』〕



Harvard Business School

Management Programs

このマネジメント・プログラムは、マイケル・E・ポーター教授をはじめとするハーバード・ビジネススクールの当代一流の教授陣が提供するもので、米国はもとより日本でも教育機関、企業のトップ・マネジメントより絶大な支持を受けているものです。

ハーバード・ビジネススクール・マネジメント・プログラム

大好評の日本語版ビデオ、最新の3タイトルが発売になりました。

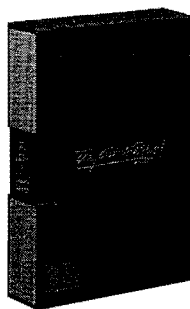
コラボレーションが創る新しい競争優位

パートナーリング

自前主義を捨て、他社との協働(コラボレーション)によりビジネスの領域を拡大する。解説は、ロザベス・モス・カンター教授。「新規市場に進出するためのパートナーリング」「事業を再生させるパートナーリング」「国際的なパートナーシップ」の3巻構成。



各巻¥98,000
セット価格¥198,000(税別)



ヒット商品をつくる!

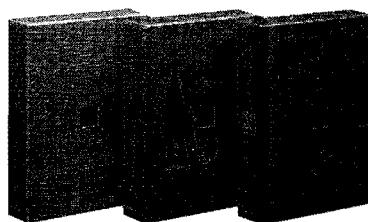
They Got It Right!

製品開発の成功は企業に莫大な利益をもたらす。明確なコア・コンセプト、製品の統合性、そして、フィット感…優れたヒット商品にはこれらの重要な特徴が備わっている。BMW社などの事例を学ぶ。解説は、キム・B・クラーク、スティーブン・C・ウィールライト両教授。 価格¥180,000(税別)

完全な顧客満足

カスタマー・ロイヤリティ

スキー場、百貨店、種苗供給の事例に学ぶ。解説は、トーマス・O・ジョーンズ氏。「顧客の忠誠心を勝ち取る」「顧客の忠実度を測り、管理し、収益を上げる」「価値を高めて、顧客をひきつける」の3巻構成。



各巻¥98,000、セット価格¥198,000(税別)

CDI

ハーバード・ビジネススクール・マネジメント・プロダクションズ 日本総代理店
株式会社 キャリア・デベロップメント・インタナショナル
グローバルメディアグループ
東京都港区三田3-13-16 三田43 森ビル7F 〒108
TEL.(03)5445-2959 FAX.(03)5445-2937

SONY
Group

1997年11月

通巻第366号

洋書輸入協会

編集者 神田 俊二

〒103 東京都中央区日本橋1-21-4 千代田会館5階20号室

☎(03)3271-6901 FAX.(03)3271-6920

印刷所=藤本総合印刷株式会社